



東日本大震災により被害を受けた方へ 税の軽減・免除等について

東日本大震災の被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

東日本大震災により被害を受けた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きを行うことで所得税が還付される場合があります。

そのほか、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例があります。

詳しくは、南国税務署にお問い合わせいただくか、国税庁ホームページをご覧ください。

また、地方税についても、住民税・固定資産税・軽自動車税等の特例があります。詳しくは、市役所税務課までお問い合わせください。

Web 国税庁 検索

<http://www.nta.go.jp>

【問い合わせ先】

南国税務署 〆088-863-3215
税務課 固定資産税班 〆53-3116
市民税班 〆52-9292

あなたのふるさと寄附金が 被災地支援に

東日本大震災の被災地自治体への寄附金、自治体を通じての被災者への義援金はふるさと寄附金として住民税・所得税の控除が受けられます。また、日本赤十字社や中央共同募金会等への義援金もふるさと寄附金として控除が受けられます。詳しくは総務省東日本大震災関連情報HPをご覧ください。

Web 総務省 検索

<http://www.soumu.go.jp>

日赤社資募金(香美市地区)への ご協力ありがとうございました

募金額 **240万1,870円**
(5月31日現在)

皆さま方の善意は、災害救助活動・献血事業・赤十字ボランティア活動や国際活動などに役立てられています。※市への義援金ではありません。

【問い合わせ先】

福祉事務所 社会福祉班 〆53-3117

香美市地域雇用創造協議会推進事業

講座のご案内

本講座は「雇用保険の求職活動」に認定されます。

受講料
無料



講師：宅間 一之

観光インストラクター養成講座

●日時 7月6日 13:30~15:30
●講師 高知県立歴史民俗資料館 館長 宅間 一之



講師：沢村 正義

食品加工講座

●日時 7月14日 13:30~15:30
●講師 高知大学 土佐フードビジネスクリエーター特任教授 農学博士 沢村 正義

起業・マーケティング講座

●日時 7月11日・29日
●講師 四国銀行 お客様サポート部 ソリューション推進グループ 上野 慎司

新しい時代の農業講習

●日時 7月19日、8月5日
●講師 株風人ファーム 代表 澤田隆文 有機のがっこう「土佐自然塾」塾長 山下一穂



講師：澤田隆文



講師：山下一穂

お問い合わせ先 香美市地域雇用創造協議会 〒782-0031 香美市土佐山田町東本町1丁目3-12
<http://www.kami-koyou.com/> TEL 0887-53-2123 FAX 0887-52-9123
※ほっと求人毎週火曜日更新中 担当：久保

地籍調査にご協力をお願いします

香美市では、昭和63年度から地籍(国土)調査事業を実施しています。今年度は、次の3地区の調査を行いますので、ご協力をお願いします。

調査区域内では、テープを巻いた竹杭を使用しますので、むやみに抜かないようにお願いします。

平成23年度 調査対象地区

- ①土佐山田町本村(市役所調査)
- ②香北町河野の一部(業者委託)
- ③物部町仙頭の一部(業者委託)

地籍調査とは

地籍調査は、土地の戸籍調査ともいえる基礎的な調査です。現在、登記所に備えられている地図や登記簿のほとんどは、明治初期の地租改正によって作られたものです。そのため、地図は境界の形状などが現地とは異なる場合があります。登記簿に記載された面積も正確ではない場合があります。

今回の調査では、所在・地番・地目・登記簿に記載されている所有者・境界の確認を行うとともに、境界の測量および面積の測定を行います。この調査の結果、地籍図と地籍簿が作成されます。



地籍図とは

一筆ごとの境界点を正確に測量し、1/250から1/5000までのいずれかの縮尺により作成された地図のことをいいます。基準点(三角点等)に基づいた測量のため、地図上の境界点が地球上のどの位置にあたるのか明らかになります。災害などにより土地の境界が不明になっても、この地図によりその境界を現地に復元することができます。

【問い合わせ先】建設課 地籍調査班 〆53-3118

地籍簿とは

一筆ごとの土地の所在・地番・地目・面積・所有者について、調査の結果を記載したものです。

地籍図と地籍簿は、閲覧という作業を経て登記所に送付されます。登記所はこれに基づき、土地登記簿の表題部(土地の表示)の記載を改めることになっています。

熱中症にご注意

熱中症を防ぐには

1. 暑さを避けましょう
日陰を歩いたり、帽子や日傘を利用しましょう。
2. 服装を工夫しましょう
汗を吸って服の表面から蒸発させることができるのが理想です。えり元が詰まっていると汗が出ていきにくいので、緩めがお勧めです。
3. こまめに水分補給をしましょう
軽い脱水状態では、のどの渇きを感じません。室内でも、こまめに水分補給を心がけましょう。



暑い日が多くなり、夏も本番…熱中症になりやすくなっています。家の中で過ごしていても熱中症になることがあります。正しい知識で熱中症を予防しましょう。特に子どもや、高齢の方は熱中症になりやすいので、まわりの方も注意をしてあげてください。

4. 急に暑くなる日に注意しましょう
急に暑い環境で活動すると、熱中症になりやすくなります。暑さに徐々に慣れるように工夫しましょう。気温・湿度ともに高い日は、特に熱中症になりやすいので注意が必要です。
5. 体調を整えましょう
体調の悪いときは熱中症になりやすいので、普段から夏の暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

【問い合わせ先】健康介護支援課 保健支援班 〆52-9282